# Django

Djangoの使い方

# Django Djangoとは

- PythonでWebアプリを 制作できるWebフレームワーク
- ・デフォルトでのセキュリティ面が優れている
- ・ InstagramやYouTubeにも 使われているフレームワーク



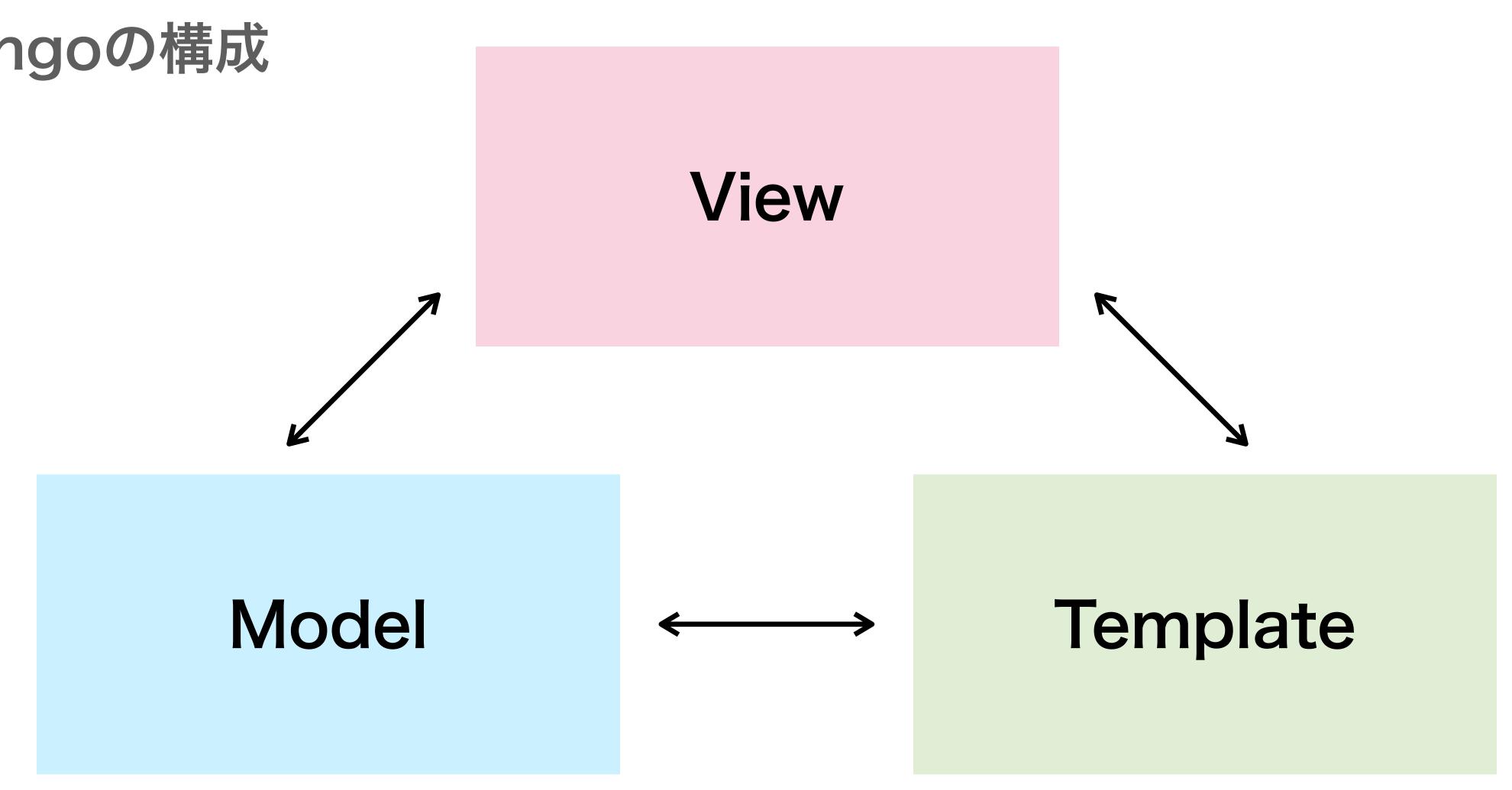
## Django Djangoとは

・SSRまで可能な フルスタックフレームワーク



# Composition

Djangoの構成



### View

ビュー

- Djangoの制御パート
- ・URLごとに実行する関数を変更
- ・views.pyという名称で存在する

### Model

#### モデル

- ・ Djangoのデータ保管パート
- クラスごとにテーブルを管理
- models.pyという名称で存在する

### Template

テンプレート

- Djangoのページ表示パート
- ・HTMLなどページのデザインを保存する
- ・templatesというフォルダ内に存在する

### Virtual Environment

#### 仮想環境

- パソコン上全てのプロジェクトで同じ環境を使用していると、不要なライブラリを導入していたり、依存関係でエラーが生じることがある
- ・仮想環境を作成することでプロジェクトごとに環境を変えられる
- ・慣例上、仮想環境名は "venv" とすることが多い



### Virtual Environment

#### 仮想環境(Windows)

・ 仮想環境の有効化



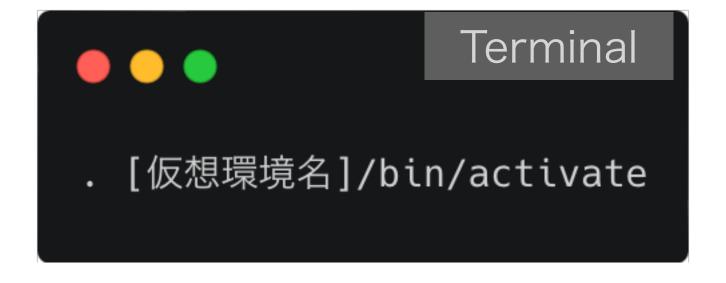
・仮想環境の無効化



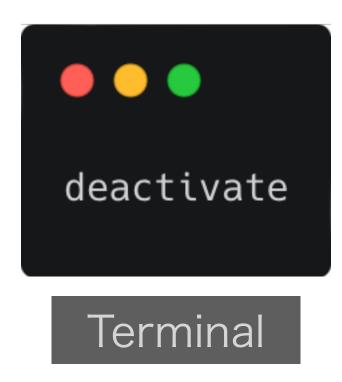
### Virtual Environment

#### 仮想環境(Mac/Linux)

・仮想環境の有効化



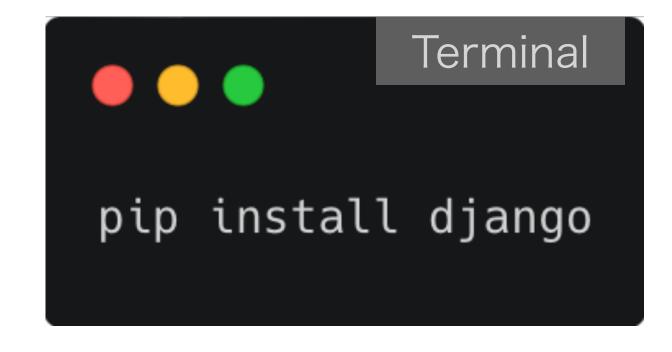
・仮想環境の無効化



# Install Django

Djangoのインストール

・仮想環境を有効化した状態で、 下記コマンドを実行し**Djangoをインストール**する



# Start Project

#### プロジェクトのスタート

- Djangoがインストールされた仮想環境内で以下のコマンドを実行し、 Djangoプロジェクトを開始する
- ・保存先フォルダを "." と指定することで カレントディレクトリにプロジェクトを作成できる



### Start Project

#### プロジェクトのスタート

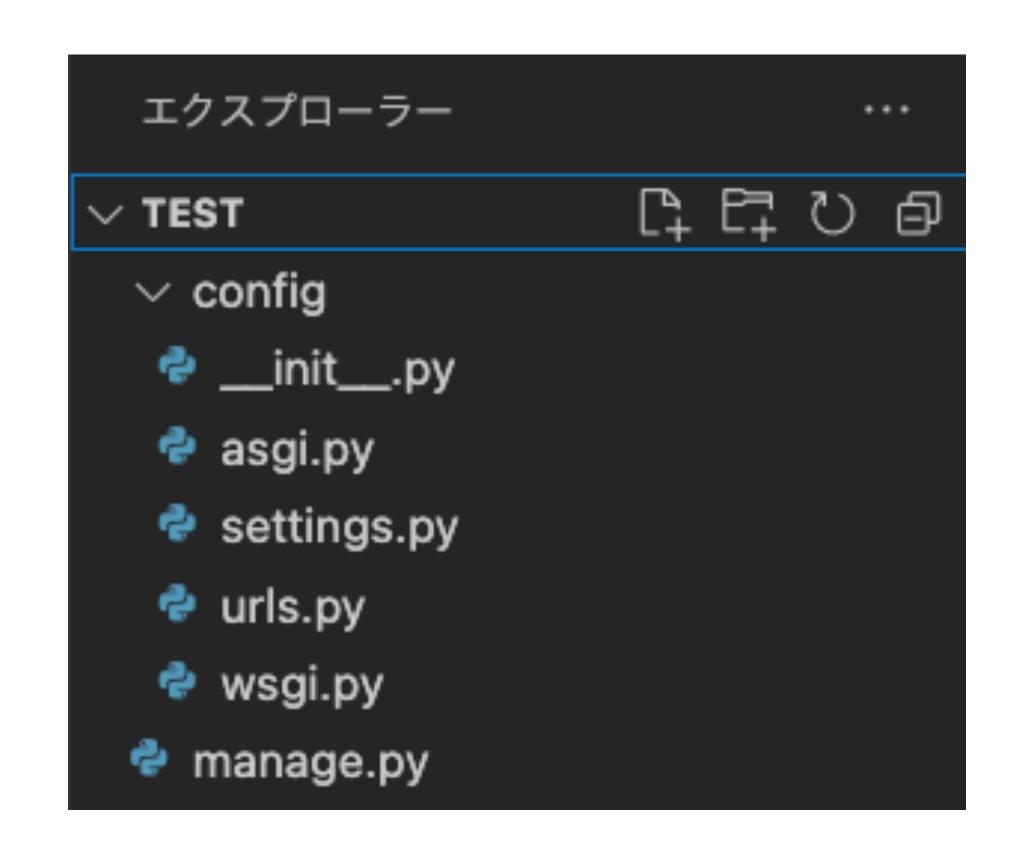
・最近は予めプロジェクト名に対応したフォルダーを作り、 プロジェクト名を "config" として開発することがある



# Files composition

#### ファイル構造

- ・config/settings.py は プロジェクトの設定を行う
- ・config/urls.py は URLルーティングを行う
- manage.py はサーバーホストやdb反映などを行う

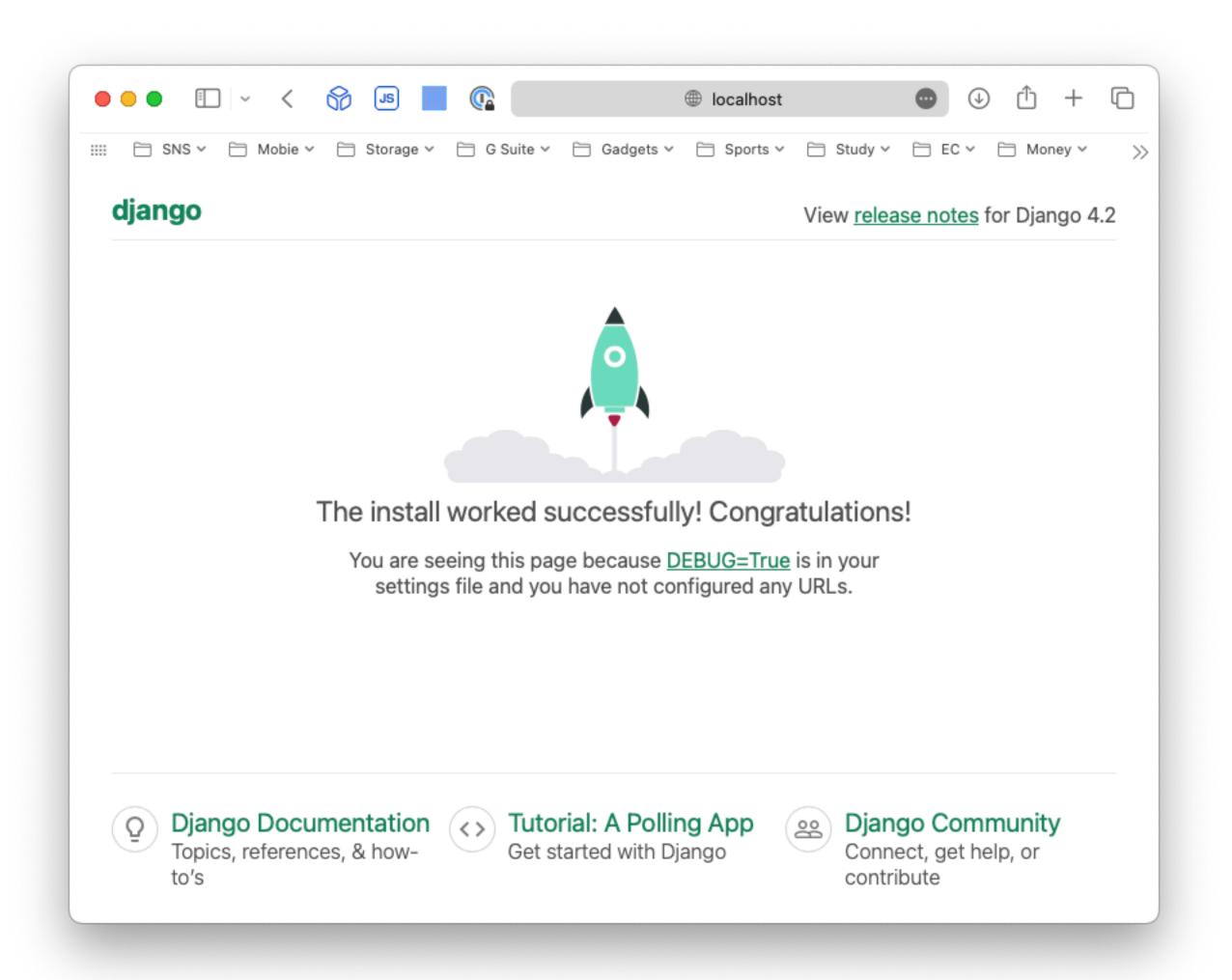


### Run server

#### ローカルサーバーの起動

- 以下のコマンドを実行して、Djangoサーバーを起動する
- 何も指定しない場合はDjangoデフォルトの8000番ポートが解放される





localhost:8000 | Safari

# Create Application

#### アプリケーションの作成

- ・Djangoではプロジェクト内に複数のアプリケーションを作れる
- ・新規アプリケーションを作るには下記コマンドを実行する
- ・例では "tasks" アプリを作成する



## Create Application

アプリケーションの作成

・ settings.py 内にある INSTALLED\_APPS に 作成したアプリケーションを追加する

```
INSTALLED_APPS = [
    'django.contrib.admin',
    'django.contrib.auth',
    'django.contrib.contenttypes',
    'django.contrib.sessions',
    'django.contrib.messages',
    'django.contrib.staticfiles',
    'tasks', # 追加
]
```

# App composition

#### アプリケーション構造

- ・ 今回はアプリ「tasks」を作成
- tasks/models.py はモデル管理をするファイル
- tasks/views.py はアプリ制御をするファイル

```
エクスプローラー
\sim TEST
 > config

∨ tasks

   > migrations
  __init__.py
  admin.py
  🕏 apps.py
  models.py
  tests.py
  views.py
   manage.py
```

### Create secret file

#### 非公開ファイルを作成する

- ・ settings.pyに記載された公開してはいけない情報を非公開にする
- ・暗号化キーなどを非公開にし、安全性を高める
- GitHubから追加できるPythonデフォルトの.gitignoreより、
   Djangoにおいてlocal\_settings.pyを非公開ファイルにすることが推奨
- ・この操作はGitにコミットする前に行う

### Details secret file

#### 非公開ファイルの内容

- ・以下の情報を非公開として扱うことが推奨される
  - BASE\_DIR
  - SECRET\_KEY
  - INSTALLED\_APPS

- DATABASES
- ALLOWED\_HOSTS

# Change settings file

#### 設定ファイルの変更

・非公開ファイルに設定した項目を削除し、 以下のように**非公開ファイルを読み込む** 

```
config/settings.py

from .local_settings import *
```

### Change URL Route

#### ルーティングの変更

デフォルトのプロジェクトでのルーティングではなく、 アプリごとに切り替える

```
config/urls.py

from django.urls import path, include

url_patterns = [
  path("", include("tasks.urls")),
]
```

```
tasks/urls.py

from django.urls import path
from . import views

url_patterns = [
  path("", views.[関数名]),
]
```

# Stop server

ローカルサーバーの停止

・作業終了時にはターミナル上でMac OS/Windows両OSとも "control + c" を押して、サーバーを停止する

